

## ①若手研究者助成

### 1. 目的

広く新たな知見を収集するとともに、糖尿病医療に関わる若手を育成し日本糖尿病協会の活動の担い手を創出する。

### 2. 研究テーマ

糖尿病に関する臨床的・基礎的研究。

### 3. 研究期間

1年。

### 4. 助成金と採択件数

1件100万円以内として、5件程度。

### 5. 応募資格

研究代表者は以下の条件を満たすこと。

- (1) わが国の大学、研究機関あるいは医療機関に勤務していること。
- (2) 日本糖尿病協会の会員であることが望ましい。
- (3) 研究代表者は、申請年度末（2019年3月31日）において46歳未満であること。  
※ 同一機関からの応募課題は、①②両助成を通じ1件に限る。  
※ 昨年度、当協会からの助成を受けた者の応募は不可とする。

### 6. 応募方法

研究代表者は、日本糖尿病協会ホームページから応募書類をダウンロードし、必要事項を記入して、原本1部とコピー10部を日本糖尿病協会事務局に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

送付先：日本糖尿病協会事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-2-4 麹町セントラルビル 8F

※ 封筒に「若手研究者助成」応募書類在中と朱記のこと

### 7. 応募期間

2018年9月3日（月）～10月15日（月）必着

### 8. 選考方法および発表

日本糖尿病協会の学術委員会において選考し、理事会で決定する。

[評価項目] 1. 研究の新規性・有用性（研究成果の日本糖尿病協会の活動への展開も含む）

2. 研究代表者の学術研究にかかる実績ならびに患者教育・地域連携などの活動実績

2019年1月中に研究代表者に対して選考結果を通知するとともに助成金を交付する。また、選考結果はホームページ等でも公表する。

### 9. 研究助成金の使途

研究助成金の交付対象となる経費は、申請課題の研究に要する物品の購入費用およびその他必要な費用。旅費や備品の購入も可とするが、助成額に占める割合が著しく高くなるよう留意すること。

### 10. 研究成果の報告

- (1) 研究代表者は2020年3月末日までに研究報告書と収支報告書を提出する。
- (2) 第8回日本糖尿病療養指導学術集会（2020年7月）にて研究成果を報告する。
- (3) 研究成果を論文として発表する際は、日本糖尿病協会若手研究者助成（Grants for young researchers from Japan Association for Diabetes Education and Care）による旨を記載するとともに、日本糖尿病協会に刊行物の写しを提出する。
- (4) 日本糖尿病協会の会誌である「月刊糖尿病ライフさかえ」およびホームページに、当該課題についての寄稿を依頼することがある。患者、一般市民が購読する誌面であることを留意する。